

令和6年度第2回今治市行政改革推進審議会

- 1 日時 令和6年11月8日（金）午前8時30分～午後6時30分
（今治市公用車による前後移動時間を含む。視察時間は午後0時30分～午後5時00分）
- 2 場所 松山市民会館（松山市堀之内）
- 3 内容 「行革甲子園2024」視察研修
- 4 出席者

委員 乾委員、志賀委員、白石委員、増田委員、村上委員、森委員
事務局 総務調整課 渡部課長補佐、小池主事
- 5 事例発表に対する委員の感想および今治市への意見

【今治市発表事例】

全国初！地方版空き家バンクシステムと全国版空き家バンクシステムとのAPI連携による移住の促進

- 住みたい田舎ランキングで今治市が上位に位置し移住に直結する施策であることや、活用ツールが今治市ゆかりのサイボウズのkintoneであること等、アピール力のある取組だと思いました。また、プレゼンも登場の瞬間から他と比較してとても印象に残りました。今後、本件のバージョンアップや横展開に加えて、紙削減をはじめ今回構築した事務削減フローの他案件への活用も期待しています。
- とても存在感のあるプレゼンだったと思います。委員長がおっしゃっていたように、データを説得力のある方法で示せばもっとよかったです。
- 今治市の先進的な取組がよく理解できました。運用の効果や将来構想まで考えているところが良いと思います。ただ、売れ残った空き家がどうなるのか、気になるところです。
- kintoneを情報ハブとして活用し、API連携により主要な媒体とつなぐことで、空き家情報が多くの人の目に留まり、流通量が増加したという成果が出ている点が素晴らしいと思いました。効果的なシステム活用の好例だと感じます。情報システム業界ではSingle Source of Truth(SSoT)という考え方があるのですが、行政でも情報を一元化することで、ユーザーや関係者が常に最新かつ信頼できるデー

々にアクセスできる環境が構築できるのではないかと思います。SSoTの実現により、異なるシステム間のデータの一貫性が保たれ、運用効率が高まるとともに、データ品質も向上するでしょう。また、API連携や自動更新機能の強化により、さらなる情報展開と迅速な意思決定が可能になると思います。

- 空き家の情報を連携しながら全国展開することにより移住の促進を図っていることや、仕事の効率化に取り組んでいることがよく分かる発表で、大変よかったです。しまなみ海道沿いで少子高齢化の状況にある島にとって、空き家を減らし人口を増やすため、今後も力を入れていただきたい取組です。
- 以前から、年々増える今治市の空き家や放置空き家の問題は深刻に感じていました。今治市発表の空き家バンクシステムのAPI連携による移住の促進は素晴らしいと思います。ただし、今治市内に空き家が発生しないよう、若者等の地域産業の担い手減少などへの対策を考えていく必要を痛感しています。

【他自治体発表事例】

(1) 余市町（北海道）：産官学による広域防災連携が取組むランニングストック方式による防災備蓄の推進

- 協力してくれる民間企業がいれば、すぐにでも実践し、効果の有りそうな施策だなと感じました。
- 民間の流通品を活用した防災食品備蓄のアイデアが良かったです。
- 防災備蓄の推進は、災害の多い今日、絶対に必要なことだと思います。人口の少ない余市町だからできることかもしれませんが、大家族となった今治市に現在、どれくらいの備蓄品があるのか疑問に思います。

(2) 山形市（山形県）：救急DXで市民の命を救う

- 最近、身内が救急車で搬送された際に時間と手間がかかったため、DX化ができればと考えました。
- 今治市の旧郡部では市内の大きな病院まで時間がかかるので、デジタルを活用したより正確な情報伝達方法は、今治市の参考になると思いました。

(3) 湯沢町（新潟県）：デジタル技術を活用した労働環境提供・効率化事業

- 人手不足が言われている中、仕事を求めている人によりよい情報が提供できる点が良かった。

(4) 福知山市（京都府）：福知山市廃校 Re 活用プロジェクト

- 廃校活用自体は特に目新しさはないかもしれませんが、取り組み姿勢や効果に獨創性があり、他の自治体に広げるといふ点でも他と比較して、より具体的かつ現

実的（ネガティブな内容も含めていた）なアドバイスがあったと思います。施策自体のスケールが大きくアピール力もありました。

- スピード感と、上司と発表者の距離感の近さが印象的でした。チームで動いている感じがしました。
- 小学校の廃校は、過疎化のダメ押しになるという話を聞いたことがありますが、福知山市の場合は「新たな地域の拠点を創出する」という観点で取り組んだところがいいと思いました。
- 大三島をはじめ、市内には多くの廃校が存在しているので、廃校活用事例はとても関心がありました。これまでは、人の交流の場としての活用ばかりイメージしていましたが、いちご農園での活用を聞いて、農業プラントや、プールを使った養魚など1次産業の場としても有効活用できそうだ、という気づきを得ました。
- しまなみ海道沿いの島には、廃校になった中学校や小学校の校舎が残っており、福知山市の取組が今後の活用のヒントになると思いました。

(5) 北九州市（福岡県）：職員一人ひとりがイノベーター DXで実現する未来の働き方～ローコードツールを活用した全庁的なDXの推進～

- 具体的な特定の施策にフォーカスするものではなかったため、少しアピール力がなかったかもしれませんが、全庁的にローコードツールの活用が構築されており、その効果が既にある点で一歩進んでいるとも感じました。一つずつは小さいかもしれませんが、個々の場面で助かる市民や、職員の労働時間削減の積み重ねは大きいと思います。